

広島港宇品・出島地区賑わい創出に係る基本方針の概要（1/2）

1 策定の趣旨

広島港宇品地区から出島地区までのウォーターフロントにおいて、公園・緑地等のみなとの資源や民間の活力を活用し、多くの来訪者が親しめる賑わい空間を創出するため、基本方針を策定した。

2 期間

平成24年度から次の3段階を設定する。 短期：5年以内（平成24年度～平成28年度） 中期：6年～10年（平成29年度～平成33年度） 長期：11年以降（平成34年度～）

3 宇品・出島地区の現状

【強み】

(1) みなと資源

ア 多くの港湾施設がある

- ① 緑地・公園 : 5箇所（約13ha）[工事中の33ha除く]
- ② 旅客施設 : 2箇所（船舶乗船人員数 約240万人）[全国第4位（H21）]
- ③ 商業施設（倉庫等の利活用） : 3店舗（約1.1ha）[全体約13ha]

イ 魅力的な自然資源がある

- ① 瀬戸内海の多島美 : 水際線は良好な視点場
- ② 原生林・自然海岸 : 瀬戸内海国立公園特別地域（元宇品公園）

ウ 史実を伝える歴史資源がある

- 史実を伝えるモニュメント : 旧宇品港の遺産（宇品波止場公園周辺）

(2) 取組

ア 集客力のあるイベントを開催できるポテンシャルがある

- ① 広島夢花火大会（H23.7） : 約43万人（民間・市）
- ② 帆船フェスタ（H23.10） : 約2.8万人（県・市）
- ③ かき小屋（H23.11～H24.5） : 約13万人（民間・県）
- ④ 瀬戸内うまいもんグランプリ（H24.3） : 約3千人（民間・県）

イ 官民が連携した学習の場がある

- ① アース・ミュージアム元宇品 : 「ありのままの自然」の確保、「自然との出会いの場」づくり、「自然環境の場」づくりの取組（民間・市）
- ② 南区魅力発見ガイドツアー : ボランティアによる魅力的なスポットの案内（民間・市）

【弱み（課題）】

(1) 民間活力とみなと資源の活用が十分でない

- ア 緑地・公園等のオープンスペースや港湾倉庫等の有効活用が十分でない。
- イ 宇品旅客ターミナルは、海陸の結節点である特性を生かせず、単なる通過点となっている。
- ウ 宇品・出島地区の財産である多くの自然資源や歴史資源の活用が十分でない。

(2) アクセス機能及び賑わい空間の回遊環境整備が十分でない

- ア 宇品・出島地区外からのアクセス機能が十分でない。
- イ 宇品・出島地区内の各施設を巡る公共交通機関や徒歩、自転車で海を眺めながら回遊できるプロムナードの整備が十分でない。
- ウ 利用者の多い宇品旅客ターミナルと広島みなと公園、及び、広島南道路北側市街地の商業施設との回遊環境が十分に整っていない。
- エ 近接する海・島嶼部を含めた観光等、多様なニーズに応える回遊手段が十分に整っていない。

(3) 官民協働で取り組むソフト対策が十分でない

- ア 海・島の風景や元宇品の自然、及び緑地・公園などの魅力的な資源を有効活用したイベント等が継続的に開催できる取組が十分でない。
- イ 魅力的な資源やイベントなど、県内外の人々へのPRが十分でない。
- ウ 宇品・出島地区を観光拠点としてブランド化する取組やイメージアップが十分でない。

魅力的な資源が多数あり、高いポテンシャルがあるが、面的な広がりや来訪者の増加に繋がっていない。

「弱み（課題）」を克服「強み」を最大限に活かす

4 基本理念

【全体コンセプト】

人と船が行き交う瀬戸内海の玄関口

【基本方針】

- (1) みなと資源を活用した空間づくり
 - ア 休憩施設や展望施設の設置等、緑地等オープンスペースを魅力のある施設として有効活用
 - イ 民間事業者のノウハウを活かし、港湾倉庫等を賑わい施設として再生
 - ウ 宇品旅客ターミナルにレンタサイクルポートを設置する等、拠点機能を向上
 - エ 自然資源や歴史資源の案内板の設置等、魅力を発揮できる仕掛けづくり
- (2) 賑わい空間の魅力の向上を図る交通環境づくり
 - ア バスルートの要請や駐車場サービスの向上等地区外からのアクセス機能を強化
 - イ プロムナードや案内サインの設置等、地区内の回遊環境を充実
 - ウ 宇品旅客ターミナル、広島みなと公園及び広島南道路北側市街地とのアクセス機能強化
 - エ 循環バス運行や複数の交通機関利用サービス等、多様なニーズに応えた回遊手段の充実
- (3) ソフト対策強化によるブランド力の向上
 - ア イベント開催促進の取組
 - イ HPの相互リンク、情報発信強化の取組等
 - ウ 夜間ライトアップ、イメージアップの取組等

5 目指す姿

【基本方針の目的】 来訪者の満足度向上

海の玄関として、或いは、みなとの活気を感じられる親水空間として、多くの方に訪れていただき、満足していただける場所とする。

【取組】

- みなと資源の魅力向上
- 地区までのアクセスの快適度向上
- 地区内の回遊環境の魅力向上

【成果】

- 地区内の複数施設を利用する人の増加
- 地区の来訪者の増加

宇品・出島地区全体の
ブランド力を向上

6 成果指標

(1) 地区内の回遊性向上

平成23年度調査（県実施）で、複数の施設を利用と回答した率（5%以下）を向上させる。

【広島県実施調査】

- ア 実施日 平成23年3月
- イ 対象 地区の利用者
- ウ 回答者数 491人

(2) 来訪者の増加

広島みなと公園及び宇品波止場公園で開催される様々な主体による年間イベント数（H23:7回）を増やし、イベントによる来訪者を増加させる。

【H23 イベント】

- ア 広島みなと公園 : 瀬戸内うまいもんグランプリ、かき小屋等
- イ 宇品波止場公園 : 帆船フェスタ、広島夢花火大会

(3) アクセスの向上

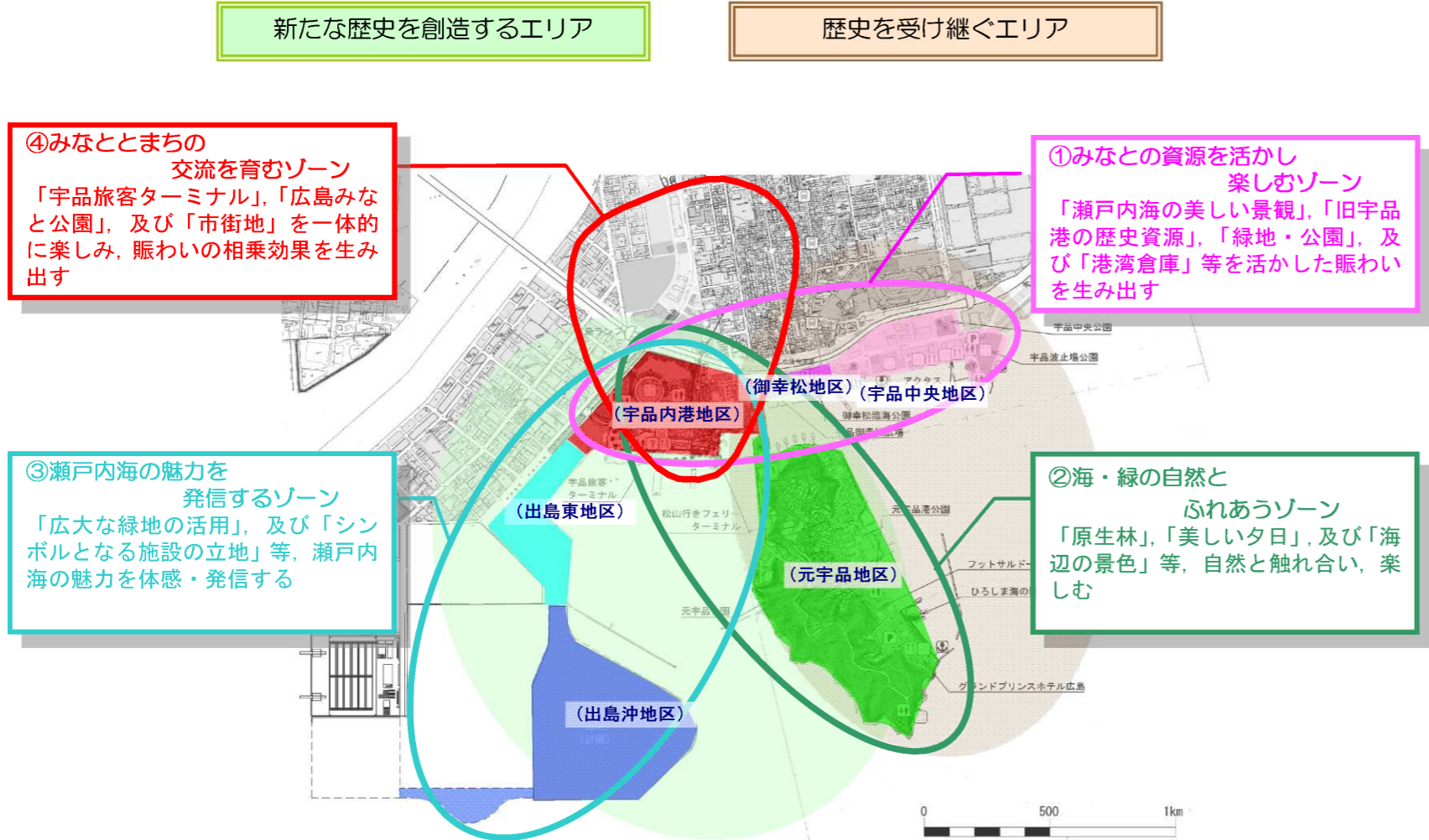
平成22年度調査（広島市実施）で、アクセスが不便と回答した率（33.2%）を減少させる。

【広島市実施調査】

- ア 実施日 平成22年10月
- イ 対象 地区の利用者等
- ウ 回答者数 1,925人

広島港宇品・出島地区賑わい創出に係る基本方針の概要（2/2）

7 各ゾーンの賑わい創出イメージ



8 みなと資源の有効活用

～各地区に求められる取組～

- (1) 宇品中央地区**
 - ア 宇品波止場公園等と商業施設の連携による賑わいの相乗効果づくり
 - イ 元宇品の自然や瀬戸内海の風景など、みなとの良さを感じながら、ここにしかない感動を得られる空間づくり
 - ウ 旧宇品港の歴史資源を有効活用し、みなとの歴史に対する認識が広がる場所づくり
- (2) 御幸松地区**
 - ア 散策途中に休憩でき、次の目的地を探すための情報が提供できる場所づくり
 - イ 元宇品の自然やみなとの特色を活かした商業施設の誘致等による賑わいづくり
- (3) 元宇品地区**
 - ア 自然資源のPRによる地区への誘導促進
 - イ 原生林や自然海岸などの自然資源を通じた「学習」の場としての利用促進
- (4) 出島東地区**
 - 大型船舶が係留できる特性や、宇品旅客ターミナルに出入する船舶を眺望できる特性を最大限活かした商業施設や文化施設の誘致等による賑わいづくり
- (5) 出島沖地区**
 - ア 海の玄関口としてのシンボリックな施設づくり
 - イ 対岸の元宇品の原生林との相乗効果による豊かな緑の空間づくり
- (6) 宇品内港地区**
 - ア 地区内の各施設を訪れる拠点として利用できる空間づくり
 - イ 宇品旅客ターミナル～広島みなと公園～広島南道路北側市街地の連携強化による賑わいづくり

9 取組内容と実施時期

取組内容	取り組むゾーン	求められる取組例	実施時期			
			短期（5年以内）	中期（6～10年）	長期（11年以上）	
(1) みなと資源の有効活用	①みなとの資源を活かし楽しむゾーン	[宇品中央地区]	・倉庫等の利用転換 ・自然や風景を楽しむ場所として緑地、公園を有効活用 ・歴史資源の案内板の設置	・倉庫等の利用転換 ・自然や風景を楽しむ場所として緑地、公園を有効活用 ・歴史資源の案内板の設置 等	・イベントと商業施設の連携 ・歴史資源のPR 等	
		[御幸松地区]				・休憩、案内施設の設置 ・商業施設の誘致
	②海・緑の自然とふれあうゾーン	[元宇品地区]	・案内板の設置 ・自然資源のPR ・環境学習の支援	・環境学習の支援	・案内板の設置 ・環境学習の支援 等	
		[出島東地区] [出島沖地区]	・商業施設、文化施設、シンボルとなる施設の誘致 等 ・豊かな緑空間づくり	・商業施設、文化施設の誘致 等	・豊かな緑空間づくり	
④みなととまちの交流を育むゾーン	[宇品内港地区]	・待合わせ場所、レンタサイクルポートの設置 ・公園の日常利用の活性化促進 等	・待合わせ場所、レンタサイクルポート ・公園の日常利用の活性化促進 等	・宇品旅客ターミナル、広島みなと公園、市街地の接続強化		
(2) 交通環境の向上	全てのゾーン	[全ての地区]	[アクセス機能の向上] ・駐車場サービスの向上 ・バスルートの要請 ・定期航路の利用促進（サイクリングとの連携） 等	・駐車場サービスの向上 ・バスルートの要請 ・定期航路の利用促進（サイクリングとの連携） 等		
			[回遊環境の充実] ・プロムナードの整備 ・案内サインの設置 ・シャトル船、レンタサイクルの取組 等	・プロムナード整備 ・案内サインの設置 ・シャトル船、レンタサイクルの取組 等		
(3) ブランド力向上	全てのゾーン	[全ての地区]	・緑地、公園のイベント開催の取組 ・情報発信の強化 ・ホームページの相互リンク、一元化 ・マップの情報量の充実によるイメージアップ ・愛称の検討 ・夜間景観の向上 ・マナー向上の啓発 等	・緑地、公園のイベント開催の取組 ・情報発信の強化	・イメージアップ等	

(1) みなと資源の有効活用

④ みなととまちの交流を育むゾーン

[現在の主な利用者] 旅客船利用者, 家族連れ



待ち合わせ場所の整備(広島駅前)



レンタサイクルポートの整備



緑地・公園の日常利用の活性化促進(広島市・水鳥の浜公園)

③ 瀬戸内海の魅力を発信するゾーン



船舶を係留し、レストランや文化施設として利用(東京港)



シンボルとなる施設の誘致(下関市・唐戸市場)

[全体の主なターゲット]
広島市域やその周辺の居住者, 及び旅客船利用者

新たな歴史を創造するエリア

歴史を受け継ぐエリア



① みなとの資源を活かし楽しむゾーン

[現在の主な利用者] 若年層(20~30代), 家族連れ



自然や風景を楽しむ場としての利用(横浜市・山下公園)



歴史資源の案内板の設置(宇品中央臨海公園)



倉庫等の利用転換の促進(宇品デポルトピア)



海を眺望できる商業施設(神戸・mosaic)の誘致

② 海・緑の自然とふれあうゾーン

[現在の主な利用者] ホテル利用者, 散歩



自然資源の利用・PR[原生林, 自然海岸](元宇品)



環境学習の支援(元宇品)

(2) 交通環境の向上



イベント時の駐車場サービスの向上(宇品波止場公園他)



サイクリングとの連携
サイクリングマップ(江田島市)



プロムナードの整備(宇品デポルトピア)

(3) ブランド力の向上



イベント開催の取組[(左)瀬戸内うまいもんグランプリ(右)かき小屋](広島みなと公園)



案内板設置による情報発信の強化(奈良市)



マップの情報量の充実によるイメージアップの促進(広島市)